

プログラム

受付開始 9:30～

開会の挨拶 10:00～10:05 年会長 寺田 弘

会長挨拶 10:05～10:10 日本薬史学会会長 折原 裕

口演発表 1～3 (各 15 分) 10:15～11:00

座長 森本 和滋 (国立医薬品食品衛生研究所)

辰野 美紀 (順天堂大学医学部)

O-1 日本初のブリッジング品目の承認審査について

○齋藤 充生^{1,2}, 林 譲¹, 矢島 毅彦¹

(¹ ヘルスヴィジランス研究会、² 日本医薬情報センター)

O-2 明治初期に市販された「喘息煙草」を巡る史的考察

小清水 敏昌 (順天堂大学医学部医史学研究室)

O-3 石見銀山薬石「無名異」の製法:「水篩(水飛・水干)」に

ついて

成田 研一 (島根県薬剤師会 江津・邑智支部)

特別講演① 11:00～12:00

「サルファア剤:忘れられた奇跡とその影響」

小林 力 (日本薬科大学教授)

座長 折原 裕 (東京大学大学院薬学系研究科)

昼休み 12:00～13:00

※事前申込時にお弁当をご注文の方は、受付にお越しください。

理事会・評議員会 12:10～12:50 (会場:新潟日報メディアシップ 6階)

口演発表 4~6 (各 15 分) 13:00~13:45

座長 小清水 敏昌 (順天堂大学医学部医史学研究室)

夏目 葉子 (日本薬史学会)

O-4 緒方洪庵の晩年期使用薬箱：現存薬品の特性

○高橋 京子^{1, 2, 3}, 井原 香名子³, 中村 勇斗³

(¹大阪大学共創機構, ²総合学術博物館, ³大学院薬学研究科)

O-5 近代医・薬学発祥史 第15報 化学・薬学雑誌の新刊

辰野 美紀 (順天堂大学 医学部医史学研究室)

O-6 新潟県の薬学史 (明治時代)

五位野 政彦 (東京海道病院・薬)

特別講演② 13:50~14:50

「良寛さんに学ぶ -心身医学の立場から-」

櫻井 浩治 (新潟大学名誉教授)

座長 寺田 弘 (新潟薬科大学)

ポスター発表 15:00～16:00

P-1 日本発バイオ医薬品の
個別症例安全性報告の総数とその年次変化
○小林 哲, 森本 和滋, 柴田 寛子, 石井 明子
(国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部)

P-2 老舗薬局に保管されていた医薬品から歴史的考察（その3）
○松崎 桂一¹、桐生 直明²
(¹日本大学薬学部・生薬学研究室、²有限会社岡本薬局)

P-3 明治・大正期薬業界における大阪薬業者の貢献
安土 昌一郎
(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター)

P-4 「薄荷」の史的変遷に関する一攷察
風岡 顯良（近畿大学薬学部）

口演発表 7～9 (各 15 分) 16:00～16:45

座長 鈴木 達彦（帝京平成大学）
松本 和男（京都大学化学研究所）

O-7 ケンブリッジの薬剤師 E・S・ペックの生涯と事績
- 薬学・薬史学・郷土の発展のために -
柳澤 波香（青山学院大学・津田塾大学）

O-8 レプラ・ハウス (Leproserie) の歴史
—フランス・ムルソー（1142年以前創設）から長島愛生園
(1930年創設)まで、世界の6施設を見学して
石田 純郎（岡山大学医学部）

O-9 インドの薬学教育の歴史における
バアグワン ダス ミグラニーの功績
夏目 葉子（日本薬史学会）

口演発表 10～12（各 15 分） 16:45～17:30

座長 松崎 桂一（日本大学）
船山 信次（日本薬科大学）

O-10 オランダの薬剤師 H. ビュルガーのわが国
薬学史上の意義に関する一考察
西川 隆（東京薬科大学）

O-11 日本におけるアミノ酸・ペプチド・タンパク系
化粧品素材 50 年の変遷
○荒井裕美子¹, 川崎元士², 松本和男³
(¹日本医薬情報センター, ²日本薬史学会,
³京都大学化学研究所)

O-12 我が国発バイオ医薬品の FDA と EMA での
承認の有無について
○森本 和滋, 小林 哲, 柴田 寛子, 石井 明子
(国立医薬品食品衛生研究所(NIHS) 生物薬品部)

次年度年会会長挨拶 17:30～17:40
内藤記念くすり博物館 森田 宏

閉会の挨拶 17:40～17:50
日本薬史学会副会長 森本 和滋

情報交換会 18:30～（会場：新潟日報メディアシップ 6 階）